

# 古きよき時代のアメリカを思わせる

## オハイオ州ワージントン市と姉妹都市提携

狭山市では、昭和48年の大韓民国忠武市（現統營市）に続き、海外2番めとなる姉妹都市提携を、11月1日（月）にアメリカ合衆国オハイオ州ワージントン市と結びました。ワージントン市は、州都コロンバスの近郊都市であり、財政が豊かで犯罪率が極めて低い平和な街です。また、開発・リサイクル・都市景観について規制をしながら、秩序をもってつくられた都市でもあります。これから、文化・教育・スポーツ・ビジネスなどさまざまな面で、子どもたちの交流をはじめとする幅広い交流を行っていきます。

### 市民交流がきっかけで

狭山市国際交流協会（SIFA）は、これまでも世界の国々と市民交流をしてきました。中でも、ワージントン市とは、機関紙の交換やホームステイによる相互訪問など、さまざまな交流の機会を持ってきました。これは、埼玉県と深い交流のあるアメリカ合衆国オハイオ州の各都市の中で、ワージントン市が狭山市との交流に意欲的であったことや、ワージントン市近郊に狭山市内の大手自動車メーカーの工場があることなどから、交流が始まったものです。

一方、狭山市では進展する国際化の中で、市民の希望する英語圏都市

との交流の実現を目指して、市内の各種団体から選出された13名の委員で構成する姉妹都市検討委員会を設け、検討を重ねてきました。その結果、英語圏姉妹都市候補地をワージントン市とする答申を受け、市では市議会の議決を経て、ワージントン市を姉妹都市と決定しました。

### 文化・教育・スポーツ・ビジネスなど幅広い交流が期待されます

調印式では、町田市長から、本日ワージントン市と狭山市が姉妹都市として新たな一歩をのぞきました。21世紀を目前に控え、両市民の夢と希望が託されたこの絆は、永遠にそしてより強固に存在し続けるもので



今後の交流を期待して固い握手が交されました

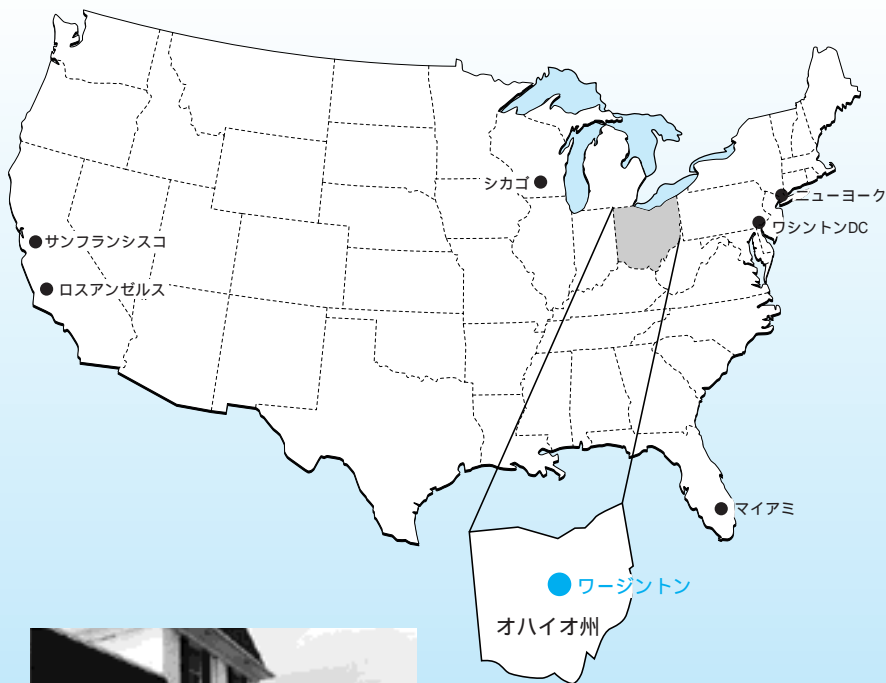
す。特に狭山市においては、青少年を対象にした文化・教育をはじめとする相互交流に大きな期待が寄せられています。」とあいさつし、ジェームス・J・ロリマーワージントン市長も「この調印が姉妹都市という実を結んだことは、最も喜ばしいことです。先日私たちは、ワージントンから狭山市に『オハイオランプ』という街灯を贈りましたが、早速市役所に建てていただき、大変うれしく思います。この贈り物がシンボルとなり、今後の両市の交流が一層深まるよう願っています。」と調印を喜びました。

今後の交流については、広報紙でご紹介しますので、ご覧ください。



11月1日、狭山市役所で調印

# ワージントン市って どんな街？



ワージントン市はアメリカ合衆国北東部、5大湖の二つであるエリー湖の南に位置するオハイオ州にあり、面積は15・54 km<sup>2</sup>で都市景観の美しい、人口約1万5千人の街です。日本からは、シカゴを経由して州都コロンバスまで約12時間、コロンバスからワージントン市までは自動車でも20分の道のりです。緯度は岩手県盛岡市とほぼ同じで、四季の移り変わりがとてもきれいです。



### オールド・ワージントン

町の中心は、1800年代に入植してきた人々が住んでいたニューイングランド様式が維持され、大きな木々の緑と建物が美しく調和しています。1808年にジェームス・キルボーンによって商業ビルいしずえの礎が築かれたオハイオ州で最も古いビジネス街で、オールド・ワージントンと呼ばれています。



### ワージントン・イン

1830年代の初めに建てられたワージントン・インは、26の客室とダイニングルームを持つホテルで、歴史的建造物として、オハイオ州でも重要建築物とされています。



問い合わせ市民活動支援課  
へ内線 2516・2517



### オレンジ・ジョンソン・ハウス

ワージントン歴史教会が維持する博物館の一つで、開拓当時の家具、調度品や農具などが、大切に保存されています。



### オールド・ワージントン・マーケットデイ

毎年行われるこの祭りは、町のメインストリートを通行止めにして、地元の人々の手工芸品、絵、農産物など、たくさんのお店が並びます。